SOCIUS No. 7

［ソシアス］ 仁愛女子短期大学　地域活動実践センター

もくじ

はじめに

「最近の若い者は……」 …… 三和　優　1

公開講座

生活と環境セミナー

映画『利休』に学ぶ映画作りの現場から。 …… 田中　光敏　2

地域連携開放講座

森田まちづくり支援事業 …… 内山　秀樹　7

幼児教育公開講座

おもちゃのチカラ～子どもの感性を育むために～ …… 多田　千尋　10

地域連携

森田地区まちづくり協議会と

仁愛女子短期大学との連携事業の報告 …… 三和　優　17

講 習 会

食育推進事業

平成24年度仁愛食育講座 …… 岸松　静代　20

保育者ワークショップ

子どものための音楽遊び　～ピアノと戯れよう～ …… 木下　由香　22

子どもの運動と健康 …… 出村　友寛　24

保育者のためのパソコン教室 …… 田中　洋一・乙部　貴幸　26

新人保育者スキルアップ講座 …… 幼児教育学科　28

福井市子ども家庭センター

AOSSA子ども家庭センター･子育て支援室･相談室(平成24年度) …… 青井　利哉　29

平成24年度地域活動実践センター活動報告

管理栄養士国家試験対策リカレント講座

講師派遣

学生の社会的活動の報告

平成24年度教員免許状更新講習

おわりに …… 西畑　敏秀　34

※敬称略

はじめに

「最近の若い者は……」

地域活動実践センター長　三　和　　優

日本では「最近の若い者は…」という決まり文句で、年配の人が若い人たちを批判することが多いようです。古くは、紀元前2000年頃のヒッタイト王国（現在のトルコあたり）の粘土板で作られた書簡に「最近の若い者は･･･」といった現状を嘆くことばが書かれてあるそうです。古代ギリシャの哲学者プラトンも「最近の若い者は、目上の人を尊敬せず、親に反抗･･･道徳心のかけらもない」と書き残しているそうです。平安時代にも、当時の若者のふるまいについての批判がこの決まり文句で書かれているそうです。

1970年代の日本でも、「無気力・無関心・無責任」の「三無主義」ということばが青年に対して言われるようになり、次には「無感動・無教養・無学力」の3つを加えた「六無主義」が高校生などの精神状況をさして使われるようになりました。

1977年には精神科医の小此木啓吾氏は、青年が自分の進路を決定するにあたり、いつまでも結論が出せないまま目的もなく過ごしてしまい、実社会に自分を位置づけることを回避する心理状態を「モラトリアム人間」と呼びました。

1986年には「新人類」ということばが流行語になり、今時の若者はどこか遠い星からやってきた「エイリアン」のように、大人からは理解ができないものと考えられたのです。

それでは、今時の若者たちは前の世代のひとびとに比べて、どのようなところが違ってきているのでしょうか。これに関して、心理学者の速水敏彦氏は『他人を見下す若者たち』（講談社　2006年）で次のように述べています。

最近の若者を特徴づける現象として、「自分に甘く、他人に厳しい」「努力せずに成果がほしい」「すぐにいらつき、キレる」「無気力、鬱になりやすい」「『悪い』と思っても謝らない」「いじめの悪質化、陰湿化」などを取り上げています。そしてこの現象は「他者を見下したり軽視することで、無意識的に自分の価値や能力に対する評価を保持したり、高めようとすることで自分は有能だと感じること（仮想的有能感）」が原因であろうと言っています。彼はこのことを実証するデータを得るために8年ほどかけて、約16,000名もの人を調査しました。その結果、「仮想的有能感」はほとんどの年齢でやや減少傾向にあること、特に大学生では2005年度をピークにしてかなり減少していることが分かりました。でも、まだまだ油断はできません。

今の子どもたちや若者には競争社会を勝ち抜くことが求められています。でも成功できる人はほんのわずかです。ですから必ず競争の敗者になる人がいます。その人はそのまま自分の負けだけを受け入れていれば、鬱になり自分がつぶれてしまいます。そこで自己防衛のために、「自分以外はバカ」と無意識的に思い込み、他者を批判するのです。競争社会、格差社会を生き抜くための手段として、自分が傷つくことから守るための「仮想的有能感」にはそれなりの存在意味があります。でも「仮想的有能感」はよくないものだと思います。「人と協調できない、敵意や嫉妬で衝突を繰り返すような、殺伐とした社会」でも、ちっとも構わないと思うのなら別ですが。

生活と環境セミナー　公開講座

映画『利休』に学ぶ 映画作りの現場から。

映画監督　田　中　光　敏

日時：平成25年 2月9日(土)　会場：福井市美術館

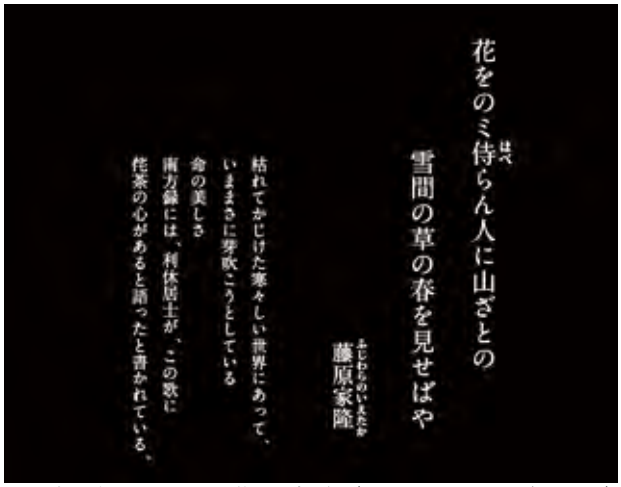
私は２０年くらい前から福井でコマーシャルを作っていて、どうも私の体の中にはそういう福井のDNAが流れているんじゃないかなって最近本気で思っているこのごろです。

実は今、みなさんもご存知の『利休にたずねよ』という映画を作っている真っ最中で12月の末にクランクアップをして、仮編集をしている段階です。

「利休にたずねよ」という原作を読んだ方もいらっしゃると思いますけど、原作ではいろんな方々が、いろんな言葉で利休にたずねていくというあらすじですが、映画では宗恩（そうおん）という利休の妻が、利休にたずねたかったことをひとつの流れにしています。当初私は千利休という名前は知っていましたが、詳しいことはほとんど知りませんでした。ですから「利休にたずねよ」という山本兼一さんの原作、それが私と千利休との出会いと言っても過言ではないでしょう。

さて、今日みなさんに何をお話しようかなと思ったのですが。映画づくりで最初の行程の脚本をつくるときに様々な本をめくっていろんな勉強をします。そのときに、自分が印象に残った言葉をみなさんにお伝えしたら良いのかなと思って、映画の中のいろんな言葉をひろってきました。このことについて今日はお話ししようと思います。

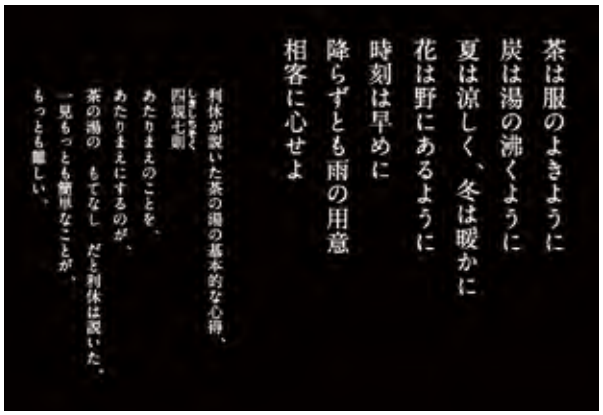
『花をのミ侍らん人に山ざとの
雪間の草の春を見せばや』



まず最初は、この藤原家隆（ふじわらのいえたか）という人が書いたこの言葉が、千利休という人を象徴しているのではないか、というふうに歴史的に言われている歌です。

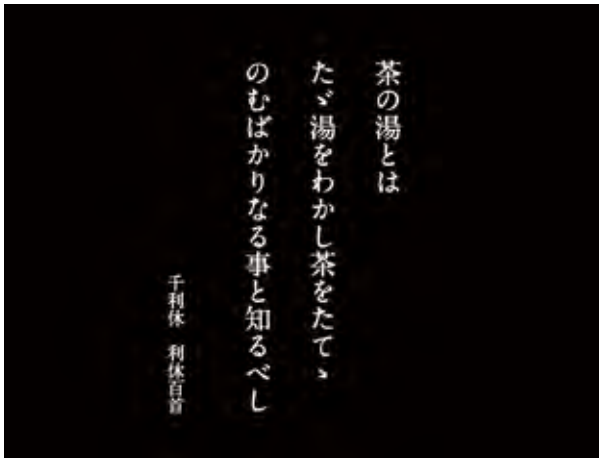
枯れてかじけた、寒々しい世界にあって、今まさに、芽吹こうとしている命の美しさ～だから、利休が飾る、その花、一番好んだのが椿。それも、花をしっかりと咲かせる椿ではなく、つぼみを一輪飾るのを非常に好んだというふうに言って伝わっております。それはたぶん今のお茶の世界の方々でも、そういうことをしているんじゃないかというふうに思っています。それを、映画の中でも、この言葉、この思いを大切にして、映像表現やシナリオづくりに役立てています。

『茶は服のよきように　炭は湯の沸くように
夏は涼しく、冬は暖かに
花は野にあるように　時刻は早めに
降らずとも雨の用意　相客に心せよ』



当たり前のことなんですよね。当たり前のことを、利休が利休七則っていう形で残してるんです。私たちが映画で千利休っていう人をつくっていくにあたって、こういうことを考えている利休像を描いています。当たり前のことが当たり前のようにできる人というのは、非常に素晴らしいことだなあというふうに思っています。クーラーのない時代に、なかなか夏は涼しくとはいかない。夏は暑さをしのぎ冬は寒さをこらえ、花は野にあるようにという自然さですね。

『茶の湯とは　たゞ湯をわかし茶をたてゝ
のむばかりなる事と知るべし』

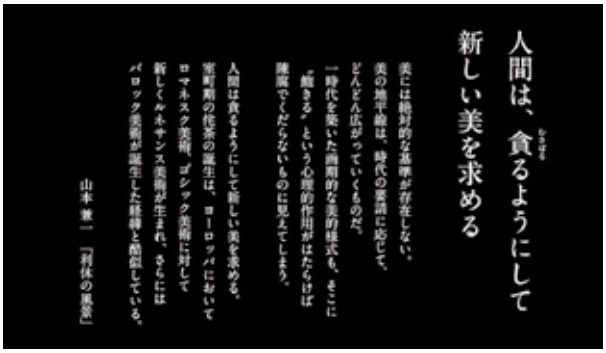


実は私が台本の1番見開きのところに、鉛筆で書いている言葉です。千利休という人は、それまでの非常にきらびやかで、舶来の高級な道具を使ってやっていたお茶の世界を変えました。要するに単純にお茶のための道具を作ろう、お茶を飲むためのお茶碗を作る。そして花を飾るものも、高級な壷とかではなくて日本の竹に一輪、椿をさすだけで美しいじゃないかと。また茶杓も同様に舶来の象牙のものを使っていたんですが、それも竹の茶杓に変えて、ただお茶を飲むために、お茶というものをやりましょうよ。っていう考え方をすることで、千利休はある種の既成概念を壊したんですね。今は利休モノというと、非常に高価なものがたくさんありますが、ただ、利休がやろうとしたことは、もう一度お茶の原点に立ち返る。もう一度そういうものを見直す。日本の中にある、美しいものを見直そうっていうことから始まったものなのです。

今回の映画では、非常に大きな役割を持つ本物の茶碗がいくつも登場します。ただ土塊の土を焼いただけのお茶碗なんですが、ただ、そのすごさというのは多くの人をも動かしてしまうほどの、歴史の重みとか、風格だとか、そういうものを持ったものなのかなというふうに感じました。

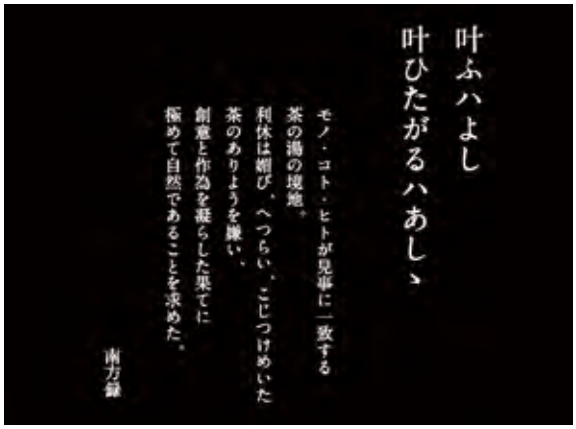
私たちの、心の中にも潜んでいる欲望とか、飽きてしまうというものも含めて、人間のそういうものが、時代を変えていくひとつの力になったり、エネルギーになったり、また時代を交代させてしまうことになる。だから人間は貪るようにして美しい美を求める。と解説しています。

『人間は、貪るようにして　新しい美を求める』



原作者の山本さんによると、一時代を築いた画期的な美的様式も、そこに「飽きた」という心理的作用が働けば、陳腐でくだらないものに見えてしまう。たぶん

『叶ふハよし　叶ひたがるハあしゝ』

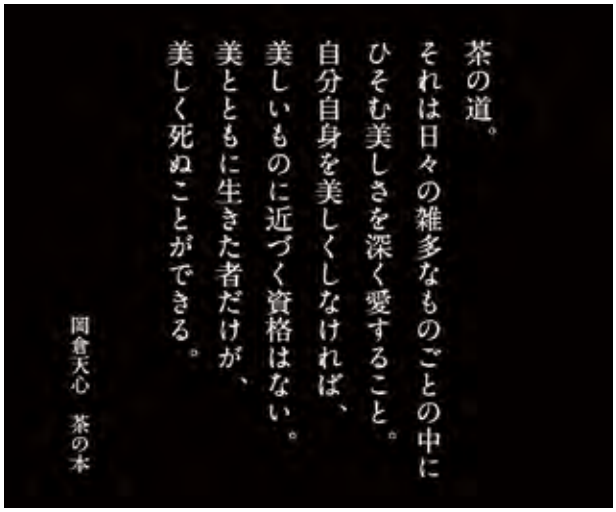


歴史をひもといていくなかで、利休という人はこういうことを考えていたのか、とわかる代表的な言葉。利

休を勉強するときに必ず出てくる南方録にある言葉です。

モノ・コト・ヒトが見事に一致する茶の湯の境地。利休は媚び、へつらい、こじつけめいた茶のありようを嫌った。つまり極めて自然であることを求めたのです。必要以上に曲げてでもなんとかしようということを非常に嫌いました。ですから利休を学ぶときに、この言葉との出会いに私自身は非常に感銘を受けました。利休像を表現するひとつの言葉だなというふうに思っています。

茶の道。
それは日々の雑多なものごとの中にひそむ美しさを深く愛すること。自分自身を美しくしなければ、美しいものに近づく資格はない。美とともに生きた者だけが、美しく死ぬことができる。



福井とゆかりがある岡倉天心の言葉です。
お茶というのは、官能の美学と言われています。つまり、それは招く側がいくら立派なひとでも、お金持ちでたくさんの道具やすばらしいお茶碗を持ってお迎えしたとしても、正客として招かれた側が、その場を楽しもう、招いてくれた人と一緒になって、その場を楽しい場にしようと思わない限り、その場は楽しくならないということなんですね。

美しい花を見たときに、あ、この花は美しい、と思える。そういう心を持ったひとだけが、その花が美しいと感じられるということでしょう。岡倉天心のこの言葉というのは、なんかそういうことを言っているんじゃないかなと私自身は思っています。

もちろん私もお茶の世界の映画を撮るということで、1年半くらい前から、お茶の勉強やお茶の所作を習いにいきました。最初の頃は、なんか堅苦しくてすごく嫌だなぁ。私にはどうも性にあわないなぁ。正座もできないし、お茶のことなんにもわかんないし、軸の漢字も読めない。こんなんでお茶の映画が撮れるんだろうかって悩んでいました。

でも習っていたお寺の和尚が、帰り際に「監督、お茶っていうのは、ひとつひとつ形に意味があってやっていることだけれども、そういう形から入ってもらおうということではないんだ。監督が映画を撮ろうと思うのであれば、心を、そのお茶の中に潜む心を勉強してほしい。」と言われまして、気持ちが軽くなりました。しかし未だにお茶の心というのはなかなかわかりませんが。

この「利休をたずねよ」という作品と向かい合って、たくさんの人たちと共に試行錯誤しながら映画を形にしていくことができました。音楽ができ、そして、編集ができ、全体のトーンが決まっていく。今からおよそあと3ヶ月かかって、やっと1本の映画ができあがっていきます。今度のお正月には、自信を持って皆さんに観ていただける映画になってお届けできると思っています。今度は劇場でぜひとも、お会いしたいなと思っております。ありがとうございました。

それからぜひとも、『サクラサク』も映画として実現させて、全国の方々に観ていただけるように頑張りたいと思いますので、また皆さん応援してください。よろしくお願いいたします。

平成24年12月23日完成
利休にたずねよ
主演 市川 海老蔵
監督 田中 光敏

地域連携開放講座

森田まちづくり支援事業

仁愛女子短期大学　教授　内　山　秀　樹

もりた夢駅～「夏物語」：JR 森田駅
7 月 15 日（日）

今年の夏物語ビラ（生活環境2回生）

「もりた夢駅」は単なるイベントではありません。高齢社会の進展が著しい中、車社会からの転換、すなわち交通弱者に優しいまちづくりを目指すものなのです。具体的には、駅を中心に森田地区内にコミュニティバスなどを走らせ、駅までバスで行って電車を利用するなど、「歩いて暮らせるまち」の実現に向けた取り組みの一環なのです。そのために、これまで駅利用者にしか縁のなかった駅に関心をもっていただく、愛着を持っていただき身近に感じていただくことを目的に 2009 年から開催してきたものです。

今年も生活環境専攻1回生全員が「地域環境論」の一環として、さらに内山研究室のゼミ生10人が「演習Ⅰ」の一環として参加。1回生は、授業で5グループに分かれて企画を検討することを通じて協調性と発想力を高めることを目的にとりくみました。2回生は地元の実行委員会への参加、ビラなどの作成、1回生の企画、準備のアドバイスやサポート役など、企画力、リーダーシップを高めることを目的に取り組みました。

もりたんぬり絵コーナー

お絵描きせんべいコーナー（環境１回生）

当日は、午後1時から現地での準備開始。汗まみれになりながらも、楽しみながらがんばりました。本番は4時。生活環境生の企画としては、「もりたん（森田地区のイメージキャラクターで 2009 年に本学学生が提案、採用されたもの）ぬり絵」、「お絵かきせんべい」、「かざぐるま」などたくさんの子供たちが楽しみました。また、仁短絵本同好会の手遊びと読み聞かせに子供たちは目を輝かせていました。クライマックスの音楽学科専攻科生のエレクトーン演奏に大きな拍手が寄せられました。今回も地域の子どもから大人まで約 250 人が訪れ、楽しんでいただきました。

手遊び＆読み聞かせコーナー（絵本サークル）

エコキャンドル原画

エコキャンドル 2012：九頭竜川河川敷
7 月 28 日（日）

本学学生が今年度初めて参画したエコキャンドル。以下、そのプロセスを含めて報告します。

実行委員会への参加（左列：生活環境２回生）

昨年度、森田地区が初めてチャレンジしたエコキャンドルを、今年は１万個のキャンドルで大々的に行いたいので、デザインを仁短にお願いしたいと依頼がありました。そこで、当研究室のゼミ生が学内で案を募集し、エコキャンドル実行委員会に案を複数提案することとしました。そのために、会場となる九頭竜川河川敷の計測を行ったり、エコキャンドルの趣旨や応募の注意点などを検討して応募要領を作成し、生活環境１回生から案を募集しました。

上がってきた案をゼミ生が複数の候補案にアレンジし、実行委員会に提案しました。実行委員会での検討の結果、採用されたのが左下図の原画で、森田がはぐくまれてきた九頭竜川にサクラマスが泳ぎ、川を挟んで地球と少女が仲良く手をつなぐ様子が描かれており、環境に優しいまちづくりの必要性を訴えています。この原画をもとに事務局が実際に河川敷にキャンドルを置くためのポイントを示す座標マップを作成しました。

当日、本学は期末試験をひかえていることもあり、学生は希望者のみの参加としましたが、１、２回生約 15 名が参加。当日は午前中から地元住民も含め約 50 名が座標マップをもとにキャンドルの配置作業に汗を流すこと５時間。ようやく５時にはめでたく点灯作業が始めることができました。クライマックスの７時には、大勢の観客が訪れ、堤防の上から作品を鑑賞したり、キャンドルの中を歩いたり写真を撮りあったりして、あちこちから感動の声があがっていました。

今回、本学が依頼されてデザイン画を制作しましたが、まちづくりの観点、住民の関心、意識の向上からの観点からすると、広く森田の住民から募ることが望まれ、これについては次年度の課題としたと思います。

炎天下のキャンドル配置作業

幻想の世界でポーズ！

竜やサクラマスなどをモチーフに暗闇に浮かび上がったキャンドルアート＝28日、福井市下森田新町の九頭竜川河川敷（青池才撮影）

九頭竜河川敷にエコの灯

廃油ろうそく住民手作り 1万本並べアート

福井 森田地区でイベント

福井市森田地区のエコキャンドルイベントが28日、同市下森田新町の九頭竜川河川敷で開かれた。住民手作りの廃油ろうそく約1万本のともしびが、夏の夜に巨大アートを描いた。（細川普弘）

F2012/07/29

環境保全をテーマに地区の一体感を高めようと、福井北商工会青年部と森田公民館が恒例の「森田まつり」に合わせて企画した。6月から始めたキャンドル作りには、子ども会育成会や地区社協などから延べ約200人が参加。森田小の給食で出た廃油を固め、牛乳瓶のふたで芯を作った。

縦40メートル、横30メートルに及ぶキャンドルアートは、地区内の仁愛女子短大の学生が原画デザインに協力。地球に両手を伸ばす女の子をメーンに、九頭竜川を象徴する竜や遡上するサクラマスを描き、「森田」の文字を添えた。

大勢の親子連れや小中学生らが見守る中、午後7時ごろに点灯を開始。敷き詰められたろうそくの灯が暗がりに揺れ、辺りは幻想的なムードに包まれていった。河川敷に愛らしい絵が浮かぶと、住民らは堤防から見下ろして出来栄えを確かめていた。

企画に携わった福井北商工会青年部理事の佐々木文章さん(33)は「森田の団結力の証しを示すことができた。これから恒例のイベントにしていきたい」と話していた。

森田まつり2日目の29日はハワイアンフラダンスや沖縄民踊の発表、家電製品などが当たる抽選会があるほか、午後8時から大花火大会が開かれる。

本番の様子（福井新聞 2012 年 7 月 29 日）

幼児教育公開講座

おもちゃのチカラ～子どもの感性を育むために～

東京おもちゃ美術館館長　多　田　千　尋

日時：平成24年 10月6日(土)　会場：仁愛女子短期大学

はじめに～芸術文化と遊び文化

私の専門は実は大きく二つあります。ひとつは子どもです。今から約 25 年前に、私は子どもの専門家として生きていこうと思っていました。

しかし、つい最近お亡くなりになった社会福祉学者の一番ケ瀬康子先生に出会い、「これからの子どもの専門家は高齢者のことも強くないとだめよ！」と言われまして、その言葉にまんまと感化されてしまいました。それ以来、もうひとつの専門には高齢者福祉が加わり、二枚看板になっていったわけです。

「おもちゃ＝子どものもの」とは思っていないのは、そのような専門性も反映しているからです。おもちゃというのは赤ちゃんでも楽しめ、お年寄りでも手ごたえを感じるものという視点で考えています。ドイツに初めて行って、おもちゃ屋さんでおもちゃを見た時は感動しました。対象年齢が 3 ～ 99 歳と記載されていたのです。この 99 歳にびっくりしました。これは、「永遠に遊べますよ」つまりエイジレス・トイという意味だなと思いました。この国には、おもちゃは子どものものという概念はないと学びました。私も似たような考えです。

子どももお年寄りも、私からしますと、２つの文化が必要だと思います。ひとつは芸術文化、もうひとつは遊び文化です。幼稚園の先生や保育園の先生は、芸術文化と遊びの文化の二刀流で生きている専門家なんです。この世界でリストラになっても老人ホームの世界で活躍できますよ。

熊本のある介護老人福祉施設では、10 人を採用する時、7 人は介護福祉士ですが、残り 3 人は保育士だそうです。施設長に理由を聞くと、「保育士は専門性が高い。お年寄りと何気なくわらべ歌が歌えるのよ。介護福祉士にお年寄りと一緒にわらべ歌を歌ってと言う

と、前の日から緊張しちゃう。でも保育士は何気なく歌える。その何気なく歌えるという力は尊い。」と言うんですね。

芸術文化と遊び文化は双方に必要だというところが、今日の話の背骨になってくるわけです。

おもちゃのチカラ～基礎編①「音にこだわる」

適当にたたいても必ず琉球民謡になってしまうという木琴があります。普通の木琴をめちゃめちゃにたたいてみてください。もういい加減に止めてという気持ちにしかならない。でも、子どもがめちゃめちゃにたたいても必ず琉球民謡という美しいメロディーになるとしたら、もう少し聞いてあげようかな、もう少しさせてあげようかなと親がやさしい気持ちになるんです。これは優れものだと思いました。

沖縄のデイサービスセンターに持っていったら、あるおばあが、私の手から奪って夢中になってたたき始め、ものすごい笑顔になりました。85 歳のおばあにとって、楽器で心地よいメロディーを奏でるということは人生初めての経験だったと思います。

人間にとって、これはうれしいことです。なかなか楽器で幸せな気持ちになるというのは難しいことで、私た

ちが楽器で幸せな気持ちになるには、ある一定の訓練が必要ですよね。

そのおばあは、まさに幸せな気持ちになったんですね。そしたら15分間ずっとたたきっぱなしだったんです。そしたら隣でおじいが両手をあげて踊り出しました。週一度来ている作業療法士がびっくりしました。この療法士は「3年間このおじいと付き合っているが、右手が肩より上にあがるのを初めて見た。作業療法の無力さを感じた。」と悔しがっていました。おもちゃって不思議ですね。遊びって本当に不思議ですよね。

アメリカのおもちゃで、4ヶ所にホイッスルの音が重なり合い、ものすごく厚みのある音がするおもちゃがあります（写真1）。神奈川県の盲学校にこのおもちゃを持っていってこの音を聞いてもらいました。やはり音に対する反応は感性豊かですね。すぐさまこの音を奏でてみたいと言いました。先ほどの木琴もすぐ自分でやってみたいと言って、目の不自由な高校生達がずっとやっていました。

美しい音を奏でられるというのは、人間本来持っている幸せ感であり、憧れ感というところがありますよね。音とおもちゃの関係論、このあたりを保育者の方々に深く研究してほしいところです。音にこだわって、おもちゃを買いにいく。音にこだわっておもちゃを吟味する。そのあたりが、プロとしてのおもちゃの選び方になってくるんじゃないでしょうか。

（写真１）
蒸気機関車が空を駆け上がるような音のするおもちゃ

おもちゃのチカラ～基礎編②「手にこだわる」

私は、子どもたちにいいおもちゃを使っていい手仕事をいっぱいさせたいです。手の運動と指の運動を活発にしたい、手と指をフル活動させたい。さぼらせたくない。そういう思いがすごくあります。漫然と「皆さん、指を動かしましょうね。」と言ったって駄目ですよ。だから皆さん短大時代に、手遊び、指遊びを身につけて、自分の手をおもちゃ化して子どもたちに楽しさを伝えて、手と指が動けるようにスキルを磨いたわけですよね。

おもちゃも同じですよ。おもちゃが子どもたちの手をフル稼働させるんです。積み木にしても指の運動、手の運動がフル稼働するわけですよ。ブロック遊びもそうですね。おもちゃを頼って子どもたちにいい手仕事をさせたいです。皆さんの園にはいっぱいありますよね。とても大切なことですね。

手仕事とおもちゃの関係で言うと、私が好きなものは「独楽」ですね。皆さんの保育園では、独楽は力を入れていますか？独楽遊びをすることはあっても、重点項目にはなっていないですよね。

（小さな独楽を見せて）この独楽は小さいですがものすごく人気があります。この独楽は回っている姿を横からみると富士山が見えるという独楽なんです。私は「独楽を回そう」とは言わないんです。「富士山作ってごらん」と言うと子どもたちは一生懸命富士山を作ろうとしますよ。回せないと、ものすごく悔しがって毎日でもやりたがりますね。回せたときは人生でこんなにも喜ぶことがあるかというくらい喜びますね。達成感がある。このように、おもちゃは、子どもたちを知らず知らずのうちに前のめりにさせ、前向きにさせて手を動かせる不思議な力を持つ道具ですよね。僕は、そんな道具はないと思っています。

3本指でつまんでくるっと回転させる3、4歳児はそんなにいないですよ。しかし毎日毎日やっていますと、みんな見事に独楽を回せるようになってきますね。独楽を回せるということは、親指と人差し指と中指が見事に鍛えられます。3本指が鍛えられると、全部生活に跳ね返ってきます。独楽が上手に回せるようになると、ボタンが上手にはめられるようになります。独楽が上手に

回せるようになると、クレヨンがきちんと持てるようになります。迷いのないしっかりとした線が描けるようになります。独楽が上手に回せるようになると、お箸もきちんと持てるようになります。みんな遊びの中で手を鍛えていくと、生活に跳ね返ってきます。ただ、楽しい思いをしましょうね、と留めてしまうのが保育なんです。これは単に遊びですね。保育の中で遊びを考える場合は、生活とつなげる必要がある。お箸やボタンなどのしつけの中でうるさいことをガタガタ言うのではなくて、遊びの中で子どもの手の活動、指の運動をしていくと知らず知らずのうちに、子どもたちの指はしなやかに動くようになる。そして力強く動くようになっていくんですね。

私は、子どもが卒園までに紐の独楽を回せるようになるのがひとつ目標です。紐が巻けるということだけですごいでしょ。すごい高等技術ですよね。ただ床の上だけで回せるのを満足させるのではなくて、手のひらで回す。そこまでいけたらすごいですね。卒園までに回せるようにするためには、まずは見本を示すため保育者が回せないといけないですよね。

実は今日のテーマは子どものための遊びじゃなくて、保育者のための遊びに切り替えた方がいいかもしれませんね。保育者が実は、一番遊んでいないということがあるかもしれません。3日間練習すれば誰でも回せるようになります。そしてまず子どもの前でやるんです。子どもの前で、手のひらで回すといいことがたくさん起こります。一番いいことは、子どもから確実に尊敬されます。この先生すごいって。この先生についていけば大丈夫だと思われます。保育というのは、子どもに尊敬させたら勝ちですよ。逆に、子どもに馬鹿にされたらつらいですよ。遊びの名人になると子どもから尊敬され、尊敬されると保育は楽になります。

（写真２）講義終了後、おもちゃに夢中になる参加者

今は、「手」のことに絞ってお話をしましたけれども、保育者の方には、おもちゃをいろいろな角度から見る確かな目を養っていただきたいなと思っています。

おもちゃのチカラ～社会編①「東北での支援」

今日のタイトル「おもちゃのチカラ」が東北の被災地でどのように役に立ったのか皆さんにお伝えします。

平成23年の4月7、8、9日に行きました。行ったのが地震の3週間後でしたから、がれきがほとんど撤去されていませんでした。そういうレベルではなかったですね。この段階では命の問題とか胃袋の問題とかいう時でした。

おもちゃが30個入っている赤い箱を約300個作りました。世界各国からおもちゃの寄付をいただきました。なるべく明るい色のデザインを届けようと思いました。ブルーシートと段ボールだけでは、人間は疲れちゃう。こういう時はデザイン性が優れた床材なども届けることは大切ですね。被災地などはデザインがなくなります。ブルーシートや段ボールの中にいると、だんだん心もすさんでくるんですね。そこに赤や黄色の明るい色が入ってくると、少しばかりですが元気づけるということはあったみたいですね。

1,000人の避難者の方が暮らしていた中学校にプレイコーナーを作らせてもらって、遊んだらそのままおもちゃを置いてきて差し上げる、こういう活動を150ヶ所でやらせていただきました。

皆さんと同業者の保育士さんもこのプレイコーナーを手伝ってくれました。職場がみんな津波で流されてしまった、働くところがなくなってしまったんですね。皆さんが何か私にお役に立てることはありますでしょうかと、自発的に来てくださったんですね。ご主人を亡くされた保育者もいらっしゃいました。たぶんプレイコーナーをお手伝いするような精神力は本当はなかったと

思います。でもこの時やっぱり保育士は強いなと私は思いましたね。子どもたちの中に入ってくれて、遊びのプロとしてずいぶんがんばってくださいました。

皆さん喜んでくださったのは、子どもたちの笑顔を久しぶりに見たということでした。子どもたちも我慢していたみたいですね。積み木を使って遊んでいる子の中に入りますと、結構残酷なことを言っていることもありました。「そんな家を作るからまた流されるぞ!」とか、ひどいことを言い合っていてびっくりしました。でもそうやってお腹に溜め込んでいるものを喉から吐き出すことはとても大切なことだとカウンセラーの方が言っておられました。

人間とは2つの栄養がないと生きていけないと思っています。ひとつは食べることです。身体にとっての栄養ですね。もうひとつは心の栄養です。体が栄養満点でも、心が栄養失調だとたぶん生きていけないと思います。ただ呼吸しているだけなら生きていけるかもしれないですけど、自己実現を果たす、生きがいを持って生きていくなら、確実に心の栄養が必要になってきます。当然0歳～6歳の時から体と心のダブルの栄養満点でなければ生きていけないと思います。つまり、遊びと芸術の栄養補給をする保育者の仕事とは、実は「心の管理栄養士」だということを強調したいと思います。

おもちゃのチカラ～社会編②「病児への支援」

もうひとつ、心の栄養補給が必要なのが病児ですね。私たちは「ホスピタル・キャラバン」という事業の中で、病院専用の移動おもちゃ美術館セットを作りました。これを広げれば暗い病院であっても、たちどころに明るいプレイコーナーができるということを目指したセットです。

お腹に内臓がたくさん入っているくまのぬいぐるみがあります。心臓、胃、腸などを話題にしながら、子どもたちとナースや院内保育士が、自分の体のことをよく知ろうと、遊びを通じてインフォームしていきます。あるいは、点滴台、ストレッチャー、CTスキャン、MRIなどのような医療器具を木のおもちゃで作ってもらいます(写真3)。それらを使って一緒にごっこ遊びをします。

(写真3) 木でつくられた医療器具のおもちゃ

子どもたちは年がら年中検査されていますので、みんな詳しいんです。検査技師がどういう言葉がけをしているかも模倣できるんですね。このようにごっこ遊びをしていますと、過剰な恐怖心が消えてくるんです。これはとっても大事ですね。

日々怯えて闘病生活を送るか、それともワクワクして闘病生活を送るか。どっちが早く治ると思いますか?これは検討するまでもないと思います。子どもたちは、どんどん遊びのほうに前向きになっていきます。遊びのほうに前向きになっていくということは、必ず心身ともに前向きになるということですね。

保育者に期待したいこと①
～「五大芸術の総合実践家」

今日の講演会のサブタイトルには、「子どもの感性を育む」と付いています。しかしそんな日ごろ頭の中で感性、感性なんて浮かべながら保育をやってはいないと思います。でも、改めて立ち止まり、私たちがやっている保育はいったい何なんだと考えると、その根本はある意味、「感性保育」なんですね。皆さんの研ぎ澄まされた感性で子どもたちに勝負をかけているんです。

一般的に乳幼児は感性豊かな時代と言われています。0歳～6歳までの保育園にいる子どもたちは感性豊かな人たちばかりです。では、感性豊かな子どもたちにどうやったら保育士はアプローチをかけていけるのかというと、それは間違いなく「芸術」です。もうひとつ言えば「遊び」です。私は遊びと芸術は分けて考えていますが、根っこの部分は一緒だと思っています。

日本の場合はこれを分けて考えなくてはいけない事情も発生してしまいます。日本では、3 歳児が砂場遊びをしていると「遊び」と言いますよね。でもバイオリニストの演奏を口が裂けても「遊び」と言ってはいけないですよね。これは日本流です。でもアメリカでは、3 歳児が砂場遊びをしていると「プレイ」といいますが、カーネギーホールで一流ピアニストが演奏しても「プレイ」といいますね。同じ言葉で両者を表現できます。

感性がもっとも豊かだと言われている、0 歳から 6 歳のところには遊びと芸術で勝負をするべきだというふうに思っています。

実はもう皆さんは、遊びと芸術で勝負をかけているんですよ。皆さんが子どもたちに八つ切り画用紙を配った時は完全に「美術」の先生ですね。でもずっと美術の先生をやり続けることはない。すぐピアノの前に座って、「音楽」の先生になります。絵本の読み聞かせや紙芝居を読むと、「文学」の先生になります。劇遊びをする時には、「演劇」の先生になります。砂場で砂を掘り川を作る、ブロックやつみきで家やお城を作る時には、「建築」の先生になります。

このように、皆さんの仕事はまさに五大芸術の総合実践家です。これが皆さんの背骨ですね。五大芸術の総合実践家を正々堂々とできる職種は、幼稚園の先生や保育園の先生以外に私は知りません。すごい仕事ですよね。

保育者に期待したいこと②～「木育推進の実践家」

私は木の専門家に尋ねました。「赤ちゃんが床でハイハイするのに一番適している材は何ですか」と。10 人の専門家は口をそろえて「それは杉以外考えられない」と答えました。しかもできれば厚さ 3cm の床材を敷いてくださいと言われました。本来 3cm は厚すぎます。一般住宅なら普通 12 ～ 16mm ですね。私はだまされたと思って本当にやってみたら（写真 4）、専門家が言うようにとってもよかったです。床暖房なんてちっともいらないですね。とっても暖かいです。それと杉は人間の心を和ませる成分を発しているので、人間の心を落ち着かせる成分が 3cm のフローリングからバンバン出

（写真 4）赤ちゃん木育ひろば

ているんです。

この部屋には子どもたちが遊びに来ていますが、三つの特徴があります。一つ目は、赤ちゃんが泣かない。赤ちゃんが泣かないのは杉の力じゃないかと推測しています。二つ目は、お母さんたちがまったく携帯電話を使わない。わが子が生き生きと遊ぶので、ママ達は遊ぶ姿に完全に目を奪われています。三つ目はパパたちの滞在時間が異常に長い。いつまでも居たくなるようです。

また、木のおもちゃにある木目は、子どもたちの集中度を高めるとも言われています。子どもたちは木目に対して集中して見ようという頭がすごく働くらしいです。皆さんも寝る時、天井の木目がよく見えていた経験があるかと思います。ずっと見ていると龍の顔に見えたり、時にはおばけの顔に見えたりして、しばらくしていると脳が覚醒化してきて眠れなくなってしまうこともあるんですね。それは天井の木目が、集中度を増させてしまったからです。

そして木は、いつまでも触っていたくなる素材ですね。木の地肌は、手のひらに心地よさを与え、匂いで楽しめる素材ですね。プラスチックのおもちゃをずっとなでている人はいないですよ。レゴブロックにいくら鼻を近づけても匂いはしません。でも木はずっとなで続けられます。ぜひ五感で勝負をしている子どもには、五感の勝負に値する素材のもの、より自然に近いもののほうを近づけるべきなのかなと考えるようになりました。

保育者に期待したいこと③～「アニマトーレ」

子どもたちに「アニマシオン」を上手にプレゼンテーションできる人を「アニマトーレ」と言います。アニマシオンとはスペイン語で、子どもがワクワクドキドキしている時に使います。0歳～6歳の時に、もっとも大切な栄養素と言われていて、ワクワクドキドキの栄養失調状態にしてはいけないということをスペインの方はよく言っているそうなんです。したがって、アニマトーレとはワクワクドキドキのプレゼンテーターということになります。保育士や幼稚園の教師がワクワクドキドキを上手に子どもにおもちゃの力を借りたり、遊びの力を借りたり、五大芸術を活用してワクワクドキドキを伝えられたとしたら、これは最高級のプロフェショナルになってくると思います。

皆さんの中には、アニマシオンやアニマトーレという言葉を初めて聞いたという方もいらっしゃると思いますが、実は皆さんはすでに知っています。英語に直すと簡単です。アニマシオンを英語に直すと、「アニメーション」です。アニマトーレを英語に直すと「アニメーター」なんです。しかし、私たちはアニメーションというと軽く扱う言葉になっていますよね。子どもたちに「アニメばかり見ているんじゃない」とかね。でも今日は、アニメーションとはとても奥深い言葉だって分かりましたよね。「アニマ」という言葉の語源は、「魂」です。魂が体の中でわぁーと騒ぎ出すことがアニメーションです。それを上手にプレゼントできる人をアニメーター、アニマトーレと言います。そうすると、うかつに子どもたちに「アニメばかり見てはいけない」と言えなくなりますよね。子どもたちに「ワクワクドキドキしてはいけない」と言うことになってしまいますよね。これは考えないといけないですよね。

このアニメーション、アニメーターという言葉を保育者として咀嚼していただいたいと思います。絵が上手だから、色を塗るのがうまいからアニメーターというのではない。子どもたちにワクワクドキドキをプレゼントできる人がアニメーターでしょうね。皆さんはアニメーターということです。そして、この仁愛女子短期大学はアニメーターの養成校ということになるわけですね。

では、そろそろ時間ですので、このあたりで終わりにしたいと思います。皆さんありがとうございました。

＜質疑応答の抜粋＞

【質問1】保育園に勤めています。子どもたちはすぐおもちゃを投げつけてしまいます。写真でもありましたが、木の丸いおもちゃなど投げたりしないのかなと気になりました。

【回答】そうですね、そういう心配が多いかもしれませんね。投げるのを躊躇させるには、大人たちがそういう空気を作っていかないといけないですね。対処療法的に注意しても、翌日また投げますよね。おもちゃは、実は投げてはいけないものだよ、という空気感を作ることもとても大切だと思います。

皆さん、食事のときにお茶碗を投げてはいけないよという空気感は上手に作られていると思います。おもちゃは投げるけれどもお茶碗は投げませんね。積み木は投げるけれどもコップは投げませんね。

これは一体何に原因があるかというと、その場にはおもちゃは投げてしまってもいい、という空気感がその場に漂っているのかもしれませんね。私たち職員がどういう環境を作っていくべきか、どういう空気感を醸し出していくべきか、ということから話し合いを開始していただきたいなと思います。私たちはこんなに大切におもちゃを扱っているのよということを、子どもたちに示すところからスタートされたらどうでしょう。

【質問2】毎月定期購読みたいに送られてくるおもちゃがあるんですが、それは大体プラスチックで、赤や青、黄色とかの色がはっきりしています。このようなおもちゃをどう思いますか？

【回答】私はあまり好きな言葉ではないですが、「知育玩具」の匂いがぷんぷんするようなおもちゃですよね。結論から言ってしまうと、知育玩具というのは世の中にはない、知育玩具という言葉もないと思っています。

少なくとも0～6歳までは遊びの天才です。遊びの一流プレイヤー時代ですね。遊びの一流プレイヤーと

いうのは手厚いケアをしなくても遊びこなすたくましい力を持っています。

砂場にしても、なんにもしてくれなくても、なんであんなに毎日毎日目を輝かせて遊ぶのかというと、一流プレイヤーだからですよ。そういう一流プレイヤーに対して、面倒見のいいおもちゃを近づける必要はまったくないと思っています。例えば電池で動くとか、音がするとか、画面から楽しいことがどんどん出てくるとか、待ちの姿勢でいても手厚いケアをしてくれるようなものは、天才や一流プレイヤーには必要がないかなと思っています。

一流プレイヤーには翌日も一流プレイヤー振りを発揮させたいですよね。雑木林でも目を輝かせて遊べる力がある子ども、川の石ころだけでもワクワクドキドキできる子ども、ブロックでも積み木でもどんどん遊べる子どもとか、自分から攻め込んでいかなければいけない、自分から手を伸ばさないと楽しめないもので、人生を自分から楽しむ力を０～６歳児はもっているんですよね。

いまお話いただいたおもちゃというのは、面倒見のいいおもちゃが毎月毎月届くのかなという気がしますね。遊びの一流プレイヤーにとって“もってこい”のおもちゃというのは、シンプル・イズ・ザ・ベストなものなのかなと思います。保育園ってそういうものしかないじゃないですか。保育園って、有機野菜のような無農薬野菜みたいなおもちゃばっかり置いてある施設ですよね。家に帰るとお菓子のようなおもちゃがいっぱいです。せめて、幼稚園や保育園は最後の最後までシンプル・イズ・ザ・ベストのおもちゃで踏ん張っていただきたいなと思います。

（文責：青井 夕貴）

森田地区まちづくり協議会と仁愛女子短期大学との連携事業の報告

地域活動実践センター長　三　和　　優

「森田地区まちづくり協議会と仁愛女子短期大学との連携に関する協定が平成 22 年 8 月 30 日に締結されました。この協定に基づいて、平成 24 年度も相互に連携・協力して、様々な事業を展開してきましたので報告いたします。

1　森田・仁愛女子短期大学連携協議会

平成 24 年 5 月 30 日、「森田・仁愛女子短期大学連携協議会」を仁愛女子短期大学会議室で開催しました。森田地区からは自治会連合会会長の加藤昌治氏、公民館長の吉村公司氏他 6 名が、本学からは禿正宣学長他 6 名が出席しました。協議事項は、平成 23 年度に実施した連携事業の報告と平成 24 年度実施予定の連携事業についてです。特に連携事業として、もりた夢駅（夏物語・冬物語）、もりた夢市、森田地区文化祭と本学大学祭（10 月 20 日･21 日）の連携･協力、夢ギャラリー森田（JR 森田駅）の運用と設備充実について意見を交換しました。また、森田地区に住んでいる方に対する本学附属図書館の利用サービスについても話し合いました。

2　森田公民館と地域活動実践センターの事務打合せ

平成 25 年 1 月 17 日に事務レベルの協議を仁愛女子短期大学で行いました。森田地区の窓口である森田公民館からは館長の吉村公司氏と主事の吉田智子氏が、本学からは地域活動実践センター長の三和優、内山秀樹教授、センター事務の中村澄子が出席しました。ここでは、平成 24 年度のふりかえりと平成 25 年度実施予定の連携事業、夢ギャラリー森田（森田駅）の運用状況、図書館見学会の日程等について話し合いました。

3　もりた夢駅 - 夏物語 -（7 月 15 日）

この事業に関しては、生活環境専攻の「地域環境論（内山秀樹教授）」の一部に組み入れ、1 回生は 5 グループに分かれて企画を持ち込んで参加し、2 回生には各グループのアドバイザーとして関わってもらった。このイベントには、学生 47 名（環境：45、絵本ｻｰｸﾙ：2）が参加･協力し、地区の子どもたちや住民の方が約 250 名来場し、大変好評でした。

福井新聞

2012年（平成24年）7月16日（月曜日）

街路樹

○…JR森田駅の利用促進イベント「もりた夢駅～夏物語」で作った「銀河鉄道」のイルミネーションも登場。中に仕込まれた3千個の電飾が午後7時に点灯すると、あちこちから歓声があがった。住民たちによる太鼓やバンド演奏も行われた。

○…駅正面には、同委員会のメンバー20人がペットボトル千本を使って作った「銀河鉄道」が15日、福井市宋町の同駅で開かれた。住民や学生による縁日や「夕焼け小焼けコンサート」など、多彩な催しが繰り広げられた。

○…森田地区文化委員会が仁愛女子短大と協力して企画。駅構内には同短大生による風車作りや地区のキャラクター「もりたん」の塗り絵コーナーなどが設けられ、大勢の子どもたちや家族連れでにぎわった。

4　第 23 回森田まつりの協力 (7 月 28 日)

7 月 28 日の森田まつり会場でエコキャンドルのイベントが行われましたが、そのデザイン原画を生活環境学生が作成しました。住民手作りの廃油ろうそくで作った縦 40 m × 横 30 mの巨大アートです。この作品は、森田のシンボルである九頭竜川、もりたん、サクラマスなどをモチーフにしたものです。当日のエコキャンドルは大いに盛り上がり、来場者約 500 名に大きな感動を与えました。また、当日はエコキャンドルの配置や点火作業にも 15 名の生活環境専攻生が参加しました。

5　森田地区文化祭と本学大学祭(10 月 20 日･21 日)の連携・協力

森田地区文化祭と本学大学祭（仁短祭）を同日に開催してそれぞれのイベント情報を連携して広報したり、森田小学校と本学の 2 会場を結ぶシャトルバスを運行するなど、観客の利便性に心がけました。森田地区文化祭で本学学生は次のことを参加・協力しました。

生活環境専攻生は森田地区文化祭のポスター及びチラシの作成と手作りアクセサリー販売、栄養研究サークル 7 名はパウンドケーキ販売、ジャグリングサークル 4 名のパフォーマンス（午前・午後 1 回ずつ）、幼児教育学科生「出張版　じんあいこどものくに」を行いました。特に「缶当てゲーム」は子どもたちが行列をつくって順番待ちをするほどの大好評でした。仁短祭にお越しになった森田地区住民の方、森田地区文化祭を訪れた本学学生を対象に、お楽しみ抽選会を開催しました。森田地区の方々との連携を深める機会として､20 日 (土) は、住民の方々が仁短祭へ、21 日 (日) は、本学学生が森

田地区文化祭への参加を呼びかけました。森田地区文化祭実行委員会 10 名（学生は生活環境 3 名・幼児教育 4 名）が、販売スタッフ（ボランティア）として参加することで、森田地区の住民の方々と楽しく交流ができ、とても有益でした。

6　もりた夢市（11 月 11 日）

この住民主体の朝市は、地域活性化の取り組みの一つとして、4 年ほど前から開催しています。森田地区住民が作ったもの、森田で採れたもの、本学学生が作ったものを販売します。本学からは「仁短の店」として、アクセサリー・ショップ（生活環境専攻 9 名）、手作りパウンドケーキの店（栄養研究サークル 6 名）を出店しました。毎年、パウンドケーキは好評ですが、今年も 30 分で完売してしまいました。

7　図書館見学会

森田地区居住者に本学附属図書館の利用を平成 25 年 1 月 4 日より開始しました。これを機に本学の図書館をよく知ってもらうため、平成 24 年 12 月 8 日と平成 25 年 3 月 23 日に「図書館見学会」を行いました。2 回で 33 名の方が参加されました。また、「図書館利用者カード」の申請を 47 名の方がされました。

8　夢ギャラリー森田（JR 森田駅）

このギャラリーは、もともと JR 森田駅を身近に感じてもらうための取り組みの一つとして開設されました。本学学生が展示した作品は次の表のとおりです。

回	展示期間	展示作品	
11	平成24年 5月 1日～ 5月31日	・『ゆかいな Paper Art』季節の移り変わりを折り紙で	＜折り紙研究会サークル 9 名＞
12	7月 6日～ 7月27日	・『現代書道文化研究会作品集』全 14 作品	＜現代書道文化研究会サークル 8 名＞
13	9月 4日～ 9月28日	・『保育室壁面カレンダー作品集』（8 月カレンダー）12 作品	＜幼児教育学科 1 回生＞
14	10月 1日～10月31日	・『日常』輝、騒、ジャンプ、親子、雨のお客人、大旗乱舞等 14 作品	＜写真サークル 3 名＞
15	平成25年 1月 9日～ 1月31日	・『生活環境専攻の案内と学生作品』	＜生活環境専攻学生＞
16	3月11日～ 3月29日	・『動植物の装飾パターン』	＜生活環境専攻学生 8 名＞

幼児教育学科

現代書道文化研究サークル

生活環境専攻

食育推進事業

平成24年度仁愛食育講座

仁愛女子短期大学教授　岸　松　静　代

1．はじめに

5年目の本講座は、定員20名で募集し、教職員2名と学生3名が指導、補助する体制で5回の講座を開催しました。

2．講座内容

【第1回】　6月9日

ひき肉のレタス包み、青椒肉絲

白キクラゲのシロップ漬け

（参加人数　25名）

初夏の中国料理です。レタスで包む炒め物は、暑い季節でもさっぱりと食べられる一品です。夏野菜のピーマンをたっぷり使用した炒め物は、緑色鮮やかにするコツがあります。デザートも冷たくさっぱりと食べられるものにしました。

【第2回】　7月14日

トマトの冷製パスタ、サラダ

クレープ

（参加人数　24名）

夏向きの西洋料理です。フェデリーニと呼ばれる細麺を用いた冷製パスタは、酢油でいただくサラダ感覚のものです。トマトのパスタに合わせるサラダは、オイルサーディンと野菜を取り合わせました。ブルーベリークリームの入ったクレープも添えました。

【第3回】　9月1日

ビビンバフ、豚肉キムチ炒め

チヂミ

（参加人数　20名）

韓国料理です。ご飯の上にナムルと呼ばれる和えものを5種類のせました。牛肉、ほうれん草、もやし、人参、ぜんまいと色取りも鮮やかです。中央にコチュジャンという韓国特有の辛味噌をのせて好みの辛さに調節しながらいただきます。酸っぱい白菜キムチと豚肉の炒め物、韓国風お好み焼きのニラ入りチヂミを取り合わせました。少し辛いけれど癖になりそうな味です。

【第４回】　９月29日
親子丼、梨酢あえ、
小豆カステラ
（参加人数　20名）

日本料理です。初秋の献立ということで、丼物の定番である親子丼と梨を用いた酢の物にしました。親子丼は、昼食や軽食にぴったりの手軽にできる一品です。肉の厚みをそろえ、同時に火が通るよう加熱して、卵は白身と黄身がマーブル状になって半熟状態に仕上げるコツを学びます。梨酢あえは20世紀梨を用い、シャキシャキの歯ごたえとすりおろした梨の甘酢っぱい味を満喫する秋限定の酢の物です。えび、わかめ、きゅうりと色取りも鮮やかです。デザートは、やさしい甘さの小豆カステラにしました。どこか昔なつかしい味のおやつです。

【第５回】　12月22日
油揚げとタコのサラダ、ニラとろ、
和風ローストビーフ
きのこの和風マリネ、生姜雑炊
納豆サラダ、ししゃも香り揚げ
もやしと木クラゲのナムル
皮なしキッシュ、鮪たたき丼
（参加人数　15名）

酒の肴をテーマにした献立です。お酒を引き立てるための料理なので、総菜よりも味は薄く、分量は少なめで、数種類取り合わせることが大切です。料理の取り合わせは，味・材料・調理法が重ならないようにします。今回はAとBの２グループに分かれ４種の肴と酒宴後の主食として雑炊とミニ丼をそれぞれ実習しました。冷蔵庫に常備されていそうな食材で手間少なく作れるものを選びました。年末、年始のおもてなしに役立つと良いと思います。

３．おわりに

年間５回ではありますが、５年間変わらず受講していただく方もあり、和気あいあいとした雰囲気の良い講座です。一人で参加しても一緒にグループ作業するので、すぐに周囲に溶け込めるのが良い点だと思います。家庭での料理作りの刺激にもなっているそうです。

都合のつく日程には、ぜひご参加下さい。

子どものための音楽遊び
～ピアノと戯れよう～

仁愛女子短期大学 准教授　木　下　由　香

◆講座要項掲載内容◆

子どもは、遊びを通して色々なことを学び、成長していきます。ピアノというと、少し敷居が高いというイメージがありませんか。今回は、ピアノを使って、大人から子どもまで誰でも出来る簡単な遊びを、一緒に考えていきましょう。また、それらを使った即興演奏も試みてみたいと思います。

◆開催日時◆

平成 24 年 9 月 8 日（土）13:30 ～ 15:00

◆開催内容◆

1. はじめに

保育の現場でピアノはどのように使用されるのかと考えたとき、歌唱活動をする際のピアノ伴奏や、手遊びやリズム遊びといった音楽にあわせた身体運動としてのリトミック活動、「気をつけ、礼」の合図などが頭に浮かびます。ピアノ演奏に慣れた保育士が担当することが多いようですが、もっと手軽にピアノを使った遊びを保育の現場でも展開できたら楽しいのではないかと考えました。なおかつ、子どもたちの感性を育むことに繋がればこんな嬉しいことはないと思いませんか。

2. ハンガリーのピアノ教育の紹介

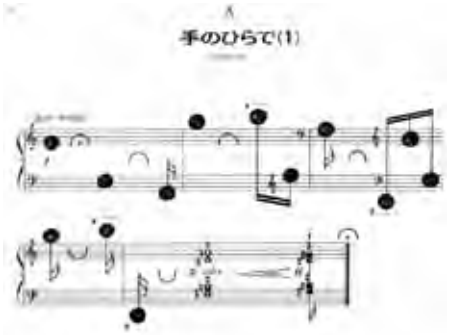
世界にはダルクローズ、オルフ、コダーイらが提唱した音楽教育があります。今回は、コダーイ・システムを基盤とするハンガリーで行われているピアノ教育について 2 つ紹介させていただきました。

【1】クルターク・ジョルジィ（1926 ～）『遊び―ピアノのために』1979 年出版

ハンガリーにおける前衛音楽の先駆者であり、主導的な作曲家であるクルタークは、ピアノを学ぶ第一歩として、大胆に音を出し、全鍵盤の上を走りまわるようにして弾く、つまりピアノを弾く喜びや動くことの楽しさを味わうことから始めようとしています。

下記にお見せするのは、五線譜上にまるでお絵描きをしたかのような図形楽譜です（図 1）。演奏には細かい指の運動は要求されず、「クラスター」や「グリッサンド」をふんだんに使った奏法が用いられているのが特徴です。そして、それらの曲の中には、形式や構造、響きや静寂などが盛り込まれ、演奏者自らがイメージを膨らませて表現することができます。

（図 1）



【2】アパジ・マーリア『ピアノの夢―創造的なピアノ学習』2008 年出版

1964 年にハンガリーのペーチ市リスト・フェレンツ音楽院音楽教員養成科を卒業したアパジは、絵画・建築・文学・数学などを総合して、ピアノに限らず自然や人間のすべての事象に共通する側面を理解することからピアノ教育を始めることを提唱しました。もっと分かりやすく言うと、森が木々で成り立ち、その木が根や茎、枝、葉などで成り立っているように、音楽もメロディー、リズム、ハーモニー、形式といった様々な構成要素で成り立っていることに着目しています。また、明暗や強弱、長短といった対比や、朝昼晩、春夏秋冬といったサイクルなども含みます。そして、応用としてこれらの要素を総合的に取り入れ

た即興を重視しているのが特徴です。関連性を発見すること、感じることが大切であり、それらをピアノを通じて創造的な音楽表現として実現させることが、引いては子どもたちの中に創造的な人間の考え方を形成することになると述べています。

クルタークやアパジのピアノ教育は、日本にいる我々には斬新で奇抜と感じるかもしれません。しかし、ハンガリーの音楽教育は、民謡を使った歌唱活動を中心にソルフェージュ能力を養い、良い耳を持った国民を多く育てる目的で行われているからこそ、このようなアプローチ法が生まれたと言えるでしょう。

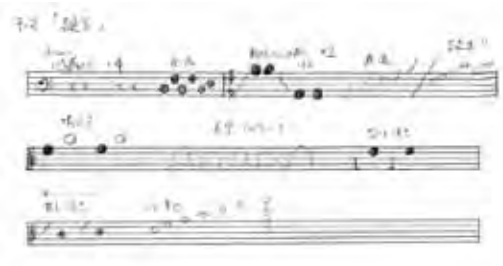
3. ミニワーク

当日は、35 名の申込者のうち 34 名の福井県内の保育者たちが参加してくださいました。6 グループに分かれて、テーマを決めていただき、グループで短いストーリーを考え、2 分以内で発表をしてもらいました。以下、各グループの発表テーマです。

第 1 グループ≪宇宙への探索≫
第 2 グループ≪動物園≫
第 3 グループ≪感情≫
第 4 グループ≪季節≫
第 5 グループ≪天気≫
第 6 グループ≪誕生≫

第 6 グループが制作した≪誕生≫の楽譜例を挙げたいと思います（図 2）。本来、楽譜は演奏を記録するために生まれました。参加者のインスピレーションがストーリーのメモと共に記されています。

（図 2）



4. おわりに

今回のワークショップでは、ピアノ経験を問わず、誰にでも取り組める内容を扱いました。グループワークでは、初めて顔を合わせる参加者が、それぞれのテーマに基づいて相談していくにつれ、和気あいあいと活発な意見交換が行われていました。また、発表に際して積極的な姿勢がみられたのは大変良かったと思います。90 分という短い時間にも関わらず、音の高低、大小、長短といった対比を上手く用いて、テーマの情景・状態が表現されたグループが多かったと思います。これまで私たちが学んできた「楽譜を正確に読む力」だけでなく、柔軟な想像力が求められ、子どもたちにもそれらを伝えていくことの大切さを感じていただきました。

幼児期はまず自己表現能力を身につけることが重要です。そういう意味で、自由な創作活動を行うことは大変有効であると思われます。「まずは実践、それから理論へ」と教育現場ではよく耳にする言葉ですが、即興演奏ができるようになることは、全体の構造から音楽を組み立てていく作業であり、楽曲をより良く理解できることに繋がると思います。今後は、実際に幼児対象のワークショップを行い、子どもたちの創造力を探りたいと思います。ピアノに限定せず様々な楽器を取り入れて、子どもたちがどのようにして作品を構成し、それに対してどのような感想を持つのか、知見を得たいと思います。

参考文献

クルターク　遊び I〔ピアノのために〕　中川一郎／ロナルド・カヴァイエ共訳　全音楽譜出版社 1989 年

降矢美彌子　岩淵摂子　ハンガリーのピアノ教育の発アパジ・マーリア著『ピアノの夢―創造的なピアノ学習』の意義　帝京平成大学紀要 22（1）2011 年

子どもの運動と健康

仁愛女子短期大学 講師　出　村　友　寛

◆講座要項掲載内容◆

小さいころから積極的に体を動かし、体力や運動能力をのばしていくことは大きくなっても健康を維持し、積極的に勉強や社会活動に参加し、より良い人生を送るためにも大切です。今回は、子どもの運動や体力の重要性について理解を深めていきたいと思います。

◆開催期日◆

平成 24 年 11 月 17 日（土）13:30 ~ 15:00

◆開催内容◆

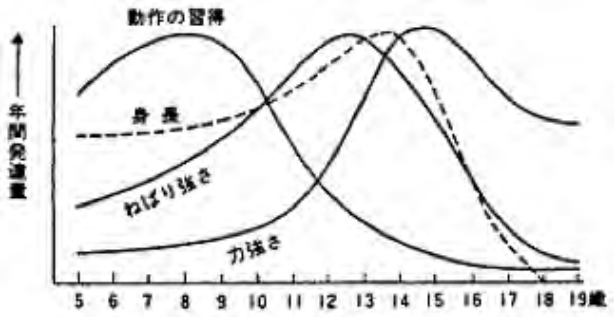
1. はじめに

日本の現状として、平均寿命の延伸（男性 80 歳、女性 86 歳）、少子高齢化（2040 年には 3 人に 1 人が 65 歳以上）、国民医療費の高騰、オートメーション化と運動不足、食生活の高カロリー化などが挙げられます。

このような背景から、健康でいることの重要性が高まっているといえます。世界保健機関（WHO）は、身体・精神・社会の 3 側面が良好な状態を健康な状態であると定義しています。幼児が運動すること（遊ぶこと）は身体面の改善につながるだけではなく、楽しく友だちと遊ぶことにより心の面が良好な状態に保たれ、グループでの遊びに参加することは社会性の面に良い影響をもたらすと考えられます。

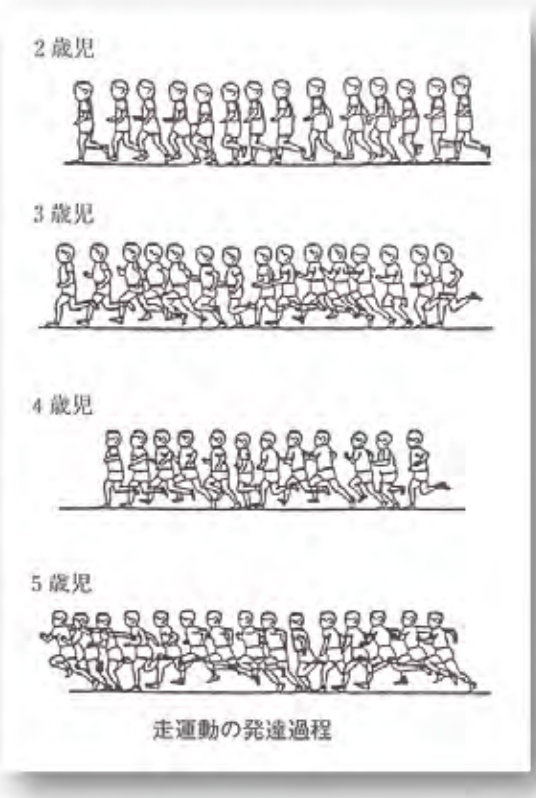
2. 幼児の体育・運動遊び

保育過程に、体育という領域はなく、幼児にとって体育、遊びは生活そのものといえます。実施する際、注意する点は、活動そのものが楽しいものであること、その活動が強制的でないこと、活動の大部分が全身的な運動であること、などがあり、幼児期は、発達、発育の観点から見ると、神経機能が著しく発達することから、動作を習得する上で最適な時期と考えられ、この発達を促進する種々の運動遊びを反復することが必要と考えられます（下図参照）。



発育，発達のパターン（宮下，1981）

また、習得した動作は、繰り返すことで洗練されていきます（下図参照）。



走運動の発達過程

3. 幼児の体力測定

幼児を取り巻く環境として、一昔前に比べ、遊ぶ「場所」、遊ぶ「仲間」、遊ぶ「時間」が少なくなっています。かつては、兄弟姉妹あるいはガキ大将が、親や保育者の見ていない世界で小さい子どもにさまざまな遊びや運動を教えました。しかし現代では少子化が進み、路地裏の遊び場も減り、電子ゲームなどの影響もあってか、群れて遊ぶ子どもをほとんど見かけなくなりました。

そのような問題を受けてか、近年幼児の体力低下が問題視されています。体力の現状を知り、対策を講じるために体力測定の実施が有効と考えられます。具体的な項目としては、25m 走、テニスボール投げ、立ち幅跳びなどが挙げられます。運動能力のレベルが低い子は、身体活動量が少なく、この時期に獲得しておきたいさまざまな動作が未獲得であるとともに、望ましい各種身体機能の向上が認められないことが考えられます。

評価が悪かった子に対しては、日頃の活動からその原因を考え（なぜ、遊び習慣がないのか）、屋外で元気よく遊ぶことを好むような言葉かけや、働きかけをしていくことが重要となります。それらの情報を的確に周りの大人が把握するための体側測定と言っても良いのです。

4. おわりに

発育・発達を踏まえた適切な指導を展開する必要があります。無理に運動させると、スポーツ障害を招いたり、運動嫌いな子どもにしてしまう危険性もあります。幼児期は心身の成長が著しい時期で、特に神経系の発達が顕著であるため、リズム、バランス、タイミングなど、運動をうまく遂行する能力を高めることに重点をおいた指導が求められます。さまざまな動きを経験させ、将来スポーツを楽しむうえで必要な正しい動きを習得していく必要があります。

【引用参考文献】

・幼児期運動指針策定委員会 (2012) 幼児期の運動指針 . 文科省 .
・出村愼一監修 (2011) 幼児のからだを測る・知る . 杏林書院 .
・出村愼一監修 (2012) 幼児のからだとこころを育てる運動遊び . 杏林書院 .

保育者のためのパソコン教室

仁愛女子短期大学 准教授 田 中 洋 一
准教授 乙 部 貴 幸

1．はじめに

情報通信技術(ICT, Information and Communication Technology）は、保育の現場にも無くてはならないものになってきています。各種文書やデータベースの作成・管理といった従来の基本的な利用法だけでなく、デジタルカメラで取った写真を園だよりや連絡帳に貼り付ける、運動会などの行事に使用する楽曲を携帯音楽プレーヤーで流すなど、パソコンと周辺機器の連携で利用される場面も増えて来ました。

今年度の本講座では、保育現場での代表的な活用例である園児データなどの管理と、音楽･映像データの編集･活用を通して、参加者がさらにICT技術に親しみ、業務効率の向上に繋げられるようになることを目的として実施しました。

2．開催日および受講者数

昨年度は、教員免許状更新講習などにより冬季に開催しましたが、今年度は下表のように夏期の開催としました。

開催期日と受講者数

コース	開催期日	受講者数
第1回	平成24年8月4日(土) 9時～16時	9名
第2回	平成24年8月18日(土) 9時～16時	16名

第1回は「エクセルを使ってデータを管理しよう」、第2回は初級者向けとして「静止画で簡単ムービー作り」と題して講習を行いました。第１回は乙部、第２回は田中が担当し、それぞれにおいて情報メディア教育支援室スタッフ、生活科学学科生活情報専攻の学生（パソコンボランティアサークル所属）数名がアシスタントを務めました。

3．講座の内容

2012年度の仁愛女子短期大学パソコン演習室ではWindows 7上でMicrosoft Office 2010が利用できました。しかし、本講座の趣旨として、機能面では過去のバージョンのOSやOfficeでも実現できる内容を可能な限り使用しています。また、高価なソフトウェアを用いなくてもできることを内容の中心に据えています。

第1回　「エクセルを使ってデータを管理しよう」

ワードなどの基本操作ができる方を対象に、エクセル2010を使って表計算ソフトの基本的な使い方を学びました。今年度からは2007以降での操作を中心とした資料に変更しましたが、内容自体は例年と同様の内容でした。

①表を作る

行事予定表の作成を通して、表計算（セル、行、列など）の概念、データ入力の方法、セル等の書式設定、連続データ作成（オートフィル）の方法を説明。

②データを集計してグラフを描く

エクセルの計算機能、関数機能、グラフ作成機能。

③データベースを作る

名簿を作成し、特定の条件によるデータの並べ替えや抽出。

④データベースを利用した文書を作成する

エクセルで作成した名簿データとワードの差し込み印刷機能を利用して、ラベル印刷。

最後に、CD-R に作成したファイルを記録して持ち帰っていただきました。

第2回　「静止画で簡単ムービー作り」

パソコン操作に慣れている方を対象に、Windows Media Player を用いた音楽 CD の取り込み方法及びムービーメーカーを用いた動画編集を学んだ上で、ショートムービーを作成し、DVD を完成させました。

① CD 等から PC へ音楽を取り込み、保育 CD 作り

Windows パソコン標準の Windows Media Player を用いて、CD から好きな曲を取り込み、好きな順番で音楽を聴く。

リストに基づき、オリジナル CD を作成。今回の講座に関係する情報倫理（著作権、個人情報、肖像権）も学ぶ。

②画像の簡単な加工をしよう

ペイントを用いた画像の拡大・縮小、トリミング等の方法を学ぶ。同様に、Microsoft Word や PowerPoint 上での画像編集を学ぶ。

③静止画を用いたムービーを作ろう

Windows パソコン標準のムービーメーカーに、②で編集した静止画（子どもたちの写真等）を取り込み、アニメーション効果やタイトル・キャプションを付け、ムービー作成。

④音楽をつけて、DVD を完成しよう

③で作成した動画に、①で取り込んだ音楽等を付けくわえ、ムービーを完成させる。

4．おわりに

第1回の受講者数は 9 名、第2回は 16 名で、昨年度とほぼ同数でした。アンケートの結果、各コースの全体的満足度について、8割前後の方に「満足」「やや満足」と答えていただきました。「不満」「やや不満」の回答は皆無でしたが、より多くの方に満足していただけるように内容を改善していきたく思います。また、この講座の定員は 30 名ですので、もう少し多くの方にご参加いただけるよう、今後、講習内容をニーズに合わせていくことが肝要だと考えています。

新人保育者スキルアップ講座

仁愛女子短期大学 幼児教育学科

本学幼児教育学科の卒業生の多くは、幼稚園や保育所などで、幼児教育・保育に携わっています。学生時代とは異なり、責任が伴う現場の保育者としての1年目は、喜びや楽しみよりも、悩みや苦しみの方が大きいかもしれません。当センターでは、そのような卒業生が新人保育者としてさらに力を発揮していけるように、保育実践能力の向上と同期生との情報交換を目的として、毎年夏に、前年度の卒業生を対象としたスキルアップ講座を開催しています。今回も、平成24年3月に卒業した新人保育者40名が参加しました。

日　時	平成24年7月29日(日)13時～16時
場　所	仁愛女子短期大学
内　容	①実技講座 テーマ：「保育に活かす音の遊び」 講　師：増田翼・野尻恵美子 ②分科会 テーマ：「友人と語ろう」 担　当：本学教員

【実技講習】

今回は、卒業生にも馴染みのある本学幼児教育学科の野尻恵美子先生と増田翼先生から現場で役立つ音の遊びについて学びました。野尻先生からは、「さんぽ」や「バスごっこ」など保育現場では多用されている歌を身振り手振りや太鼓などの楽器を活用して、子どもの状態に合わせたアレンジの仕方などを教わりました。増田先生からは、リズムに乗って友達との共同作業を楽しむ方法や身近な物を使って合奏をする工夫などを教わりました。

【クラス別分科会】

2年間を共にしたクラスの仲間、在学時にクラスアドバイザーだった先生やお世話になった先生と、お互いの近況を報告し合いました。同じ新人として「私も同じ！わかるよ～」と共感してもらったり、「私はこうしているよ！」と刺激をもらったりしていました。最後は、「明日からまたがんばろうね」と励まし合いながら終わりました。

（文責：青井夕貴）

AOSSA 子ども家庭センター・子育て支援室・相談室（平成24年度）

URL http://www.fukui-kosodate.jp/

子ども家庭センター・子育て支援室・相談室 副室長　青　井　利　哉

平成 24 年度子ども家庭センター・子育て支援室・子育て相談室は、平成 29 年度までの業務について、福井市と再契約を結んだ最初の年となった。平成 24 年度から安井弘二室長を新たに迎え、センターの更なる飛躍に向けた取り組みが始まった。管理業務体制の強化を図るため、子育て支援室事業責任者および相談室事業責任者をそれぞれ任命した。職員一人ひとりに対して、個人の特性に応じた役割をもってもらい、どの職員もやりがいをもって仕事ができるよう努めた。

平成 24 年度の特徴的な事業として、子育て支援ボランティアフォローアップ研修会の開催がある。今回は、センター基本事業とともに、この点についても報告する。

1．平成 24 年度子育て支援室の実績

1）子育て支援室利用数の推移

表 1 は、子育て支援室の利用数である。総延べ利用数とは、子どもの利用延べ人数と、その保護者の利用延べ人数を合算したものである。平成 24 年度は、センター開所以来最も利用者が多かった。地域におけるセンターの認知が、さらに進んだ結果ではないだろうか。

表 1．子育て支援室の利用数の推移

	子どもの延べ利用数（人）	総延べ利用数（人）	世帯数（世帯）
H23 年度	7,491	14,431	1,464
H24 年度	9,237	17,641	1,507

2）子育て支援室の子育て講座開催状況

表２は、子育て支援室が企画した子育て講座の開催状況である。子育て講座は、主に子育てマイスターに依頼しながら、毎年多彩な企画を行っている。特に人気の講座は、楽器を使った「ミュージックケア」、イルカやシャチの大型風船を使った「ムーブメント」、オイルを使った「ベビーマッサージ」などであった。

表 2．子育て講座の開催回数と参加人数

	開催回数（回）	参加人数（人）
H23 年度	37	1,426
H24 年度	47	1,772

子育て講座の様子

ミュージックケア

ムーブメント

3）子育て支援ボランティアフォローアップ研修会（新規事業）

センターでは、地域の子育て力向上を目的として、子育て支援ボランティア養成講座を開講している。仁愛女子短期大学の先生方にも協力をしていただき、平成 24 年度で第 7 回目を迎えている。現在までに受講生は 75 名になり、30 名の方が実際に子育てボランティアとして活躍している。

しかし、活動中の子育て支援ボランティアから、自分自身の活動の振り返りや、他のボランティアと活動の共有が難しく、孤独になりがちであるとの意見が寄せられた。その課題に対応するために平成 24 年度より子育て支援ボランティアフォローアップアップ研修会を開催した。参加者は 10 名であった。講師に、地域で子育て支援に積極的に取り組んでいる主任児童委員の坪川祥子氏をお招きし、「地域ではぐくむ子育て支援」の題目で実践報告をしていただいた。その後参加者は自由に自分たちの活動報告を行い、困っている問題や、チャレンジしたい活動など具体的に語られた。

2．平成 24 年度相談室の実績

表3は、子育て相談室の相談数の推移である。表中のカッコ内は、専門相談合計における内訳を示した。平成 24 年度は、精神科医による専門相談を開設しなかった。また、女性相談の件数が多かったことが特徴的であった。

フォローアップ研修会の様子

3．平成 25 年度の事業展開

子育て支援室は、地域支援活動を行うことである。地域で子育て支援に携わる支援者と、より密接な連携をとりながら、子育て親子の「つなげる支援」や「子育てグループの形成」を行う予定である。

子育て相談室は、子ども虐待の早期発見や、早期対応を目的として、公立保育所の巡回相談を行っていく予定である。その基本的資料作成のために、子ども虐待に関するアンケートを公立保育士や子育て親に調査した。調査結果をもとに、巡回相談の具体的方法を提案していく予定である。

表 3．子育て相談室の相談実績件数

単位（件）

	子ども相談	女性相談	ママダイヤル	小　計	専門相談計	（小児科）	（精神科）	（弁護士）	総合計
H23 年度	985	858	1,010	2,853	159	(84)	(8)	(67)	3,012
H24 年度	997	1.040	786	2,823	197	(129)	—	(68)	3,020

平成24年度　活動一覧

◆管理栄養士国家試験対策リカレント講座

	開講日	教科 1限18:30~19:30・2限19:40~20:40	講　　師（敬称略）	参加人数
第1回	7月 7日(土)	第1回 全国統一模擬試験	牧野・百木	18
第2回	8月24日(金)	第2回 全国統一模擬試験	牧野・百木	27
第3回	9月20日(木)	食べ物と健康-1（調理）	谷　洋子	27
第4回	9月27日(木)	食べ物と健康-2（食品）	加藤　隆夫	22
第5回	10月 4日(木)	食べ物と健康-3（食品衛生）	加藤　隆夫	23
第6回	10月11日(木)	臨床栄養学（栄養）	清水　瑠美子	23
第7回	10月17日(水)	基礎栄養学	種村　安子	15
第8回	10月25日(木)	生化学	谷　政八	19
第9回	11月 1日(木)	社会･環境と健康-1	出口　洋二	25
第10回	11月15日(木)	社会･環境と健康-2	出口　洋二	17
第11回	11月22日(木)	応用栄養学	佐藤　裕保	19
第12回	11月29日(木)	栄養教育論	牧野　みゆき	16
第13回	12月 1日(土)	第3回 全国統一模擬試験	牧野・百木	36
第14回	12月 6日(木)	人体の機能と栄養（解剖生理学）	齋藤　正一	18
第15回	12月13日(木)	人体の構造と疾患（病理）	齋藤　正一	16
第16回	12月20日(木)	臨床栄養学（診断）	齋藤　正一	15
第17回	1月10日(木)	公衆栄養学	牧野　みゆき	16
第18回	1月17日(木)	給食経営管理論-1	桑野　洋子	16
第19回	1月24日(木)	給食経営管理論-2	桑野　洋子	16
第20回	1月26日(土)	第4回 全国統一模擬試験	牧野・百木	39

◆講師派遣

日　時	講師氏名	テーマ	依頼団体
7月15日(日)	牧野　みゆき	食べることは生きること　～食育のすすめ～	坂井市磯部地区まちづくり協議会
8月17日(金)	松川　恵子 増田　翼	幼小連携においての小学校教師との話し合いの持ち方について	勝山市立成器南幼稚園
9月7日(金)	重村　幹夫	実技「水彩画を楽しく描こう」 講演「楽しく描くための教師の働きかけとは」	勝山市幼稚園教育研究会
11月15日(木)	出村　友寛	子どもと一緒に室内で体を動かして遊べる遊び	坂井市保育研究会
12月15日(土)	岸松　静代	クリスマスケーキ講習会	仁愛短大附属幼稚園

◆学生の社会的活動（ボランティア等）の報告

参加した活動の状況					参加した学生の状況	
活動名	活動日時	活動場所	主催団体	活動の対象	活動サークル・学科の名称	参加人数
地域ボランティア	5月9日	森田地区全域	仁愛女子短期大学	森田地区住民	2回生全員	280
森田地区文化祭	10月21日	森田小学校	森田地区文化委員会 森田公民館	森田地区住民	仁短祭実行委員会 ジャグリングサークル 食物栄養サークル	21
平井町区民体育大会 （親子折り紙遊び）	5月27日	平井町児童センター	平井区・壮年会	平井町の児童と その保護者	折り紙研究会	3
東安居公民館青少年育成事業 七夕飾り作り	6月30日	東安居公民館	東安居公民館	小学校児童	折り紙研究会	4
福井市消費者まつり 「折り紙教室」	12月2日	フェニックスプラザ	福井市消費者センター	一般	折り紙研究会	5
使用済切手・ 書き損じ葉書回収活動 （学内数カ所にボックス設置）	1年間	仁愛女子短大	仁愛女子短大ユネスコクラブ	仁愛女子短大学生	仁愛女子短大 ユネスコクラブ	12
大学祭活動 （募金、書き損じ葉書回収、 日赤の献血補助活動）	10月20日(土) 9:00～16:00	仁愛女子短大	仁愛女子短大ユネスコクラブ	仁愛女子短大学生 と来学者	仁愛女子短大 ユネスコクラブ	41
障がい者のためのパソコン相談会	年間10回	鯖江市社会福祉協議会 鳥羽事業所	鯖江市社会福祉協議会	身体障がい者の方 とその家族	パソコンボランティア サークル	24
さばえボランティアまつり2012	10月14日	アイアイ鯖江・ 健康福祉センター	鯖江市社会福祉協議会	身体障がい者の方 とその家族	パソコンボランティア サークル	3
仁愛のお姉さんと遊ぼう会	年間10回	坂井市立図書館	坂井市立図書館	幼児～小学生	ボランティアサークル	2
託児ボランティア	4月1日	アオッサ7階	福井県臨床心理士会	5～6歳幼児	ボランティアサークル	32
仁愛女子短大附属幼稚園お誕生会	5月・6月	仁愛女子短大附属幼稚園	仁愛女子短大附属幼稚園	園児	音楽学科専攻科	8
森田児童クラブ演奏会	8月	八重巻公民館	森田児童クラブ	小学生30人	音楽学科専攻科	3
もりた夢駅～「夏物語」2012	7月15日	JR森田駅	森田地区文化委員会	小学生・一般住民	生活環境専攻 絵本サークル	47
森田まつり2012　エコキャンドル	7月28日	九頭竜川河川敷	福井北商工会青年部 森田公民館	一般住民	生活環境専攻	20
もりた夢市	11月11日	森田小学校	森田地区活性化委員会	一般住民	生活環境専攻学生 食物栄養サークル	15
ふくい夢アート2012	1年間	夢アートステーション	フクイ夢アート実行委員会	一般住民	生活環境専攻学生	409
幼児教育保育ボランティア	1年間	各幼稚園・保育園・施設	各幼稚園・保育園・施設	乳幼児・小学生 障害児（者）	幼児教育学科	188

（当センターでの把握のみ）

◆平成24年度 教員免許状更新講習

仁愛女子短期大学が、平成24年度に実施した教員免許状更新講習「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項（選択）の概要は次の通りである。

講習①	講 習 名	気になる子どもへの援助を考える　～音楽を活用して～
	認定番号	平24-35175-50102号
	講　　師	野尻恵美子（仁愛女子短期大学幼児教育学科准教授） 青井夕貴（仁愛女子短期大学幼児教育学科准教授）
	講習の目標・ねらい	気になる子どもへの援助における取り組みが多様化している現状を踏まえ、本講習では、気になる子どもの捉え方とかかわり方の基本について整理をする。さらに、具体的なかかわり方のひとつとして、音楽を取り上げ、事例やグループワークを通して、音楽を活用した援助の理解を深め、日々の保育・教育につながる手がかりを見出すことをねらいとする。
	講習会場	仁愛女子短期大学 B108教室
	日　　程	平成24年 8月 7日（火）9:00 ～ 16:30
	受講者数	32人

講習②	講 習 名	保育内容（自然に関する遊び）
	認定番号	平24-35175-50103号
	講　　師	松川恵子（仁愛女子短期大学幼児教育学科准教授）・増田翼（仁愛女子短期大学幼児教育学科講師） 前田正紀（仁愛女子短期大学幼児教育学科非常勤講師）
	講習の目標・ねらい	自然体験活動を通して身近な自然に興味や関心をもち、自然を大切にする心情を育てることは、幼稚園教育の重要な目標である。そこで本講習では、指標となる水生生物を観察したり自然の事物を取り入れた遊びについて考えたりすることにより、保育内容（環境）についての理解を深めたい。
	講習会場	仁愛女子短期大学 B108教室
	日　　程	平成24年 8月20日（月）9:00 ～ 16:30
	受講者数	31人

講習③	講 習 名	子どもの音楽的感性を育む実践指導
	認定番号	平24-35175-50104号
	講　　師	河野久寿（仁愛女子短期大学幼児教育学科講師）・川﨑美砂子（仁愛女子短期大学音楽学科非常勤講師） 坂本流美（仁愛女子短期大学音楽学科非常勤講師）
	講習の目標・ねらい	子どもの発達に応じた音楽表現活動の意義を理解し、自然で伸びやかな音楽感性を引き出す実践指導について学ぶ。具体的には、①伴奏法や編曲法の実際と柔軟な音楽表現のあり方、②自然な発声法・楽しく美しく歌う体験と実践指導、③「わらべ歌」による音楽表現活動の体験と実践指導について学ぶ。
	講習会場	仁愛女子短期大学 A106教室及びE208教室
	日　　程	平成24年 8月23日（木）9:20 ～ 16:40
	受講者数	31人

おわりに

仁愛女子短期大学 教授　西　畑　敏　秀

『SOCIUS』について

本誌名「SOCIUS」は禿正宣学長が名付けました。「SOCIUS」とは、ラテン語で「仲間」、「友」というを意味だそうです。この言葉から「societas」いう「親交、友愛、絆」を意味する言葉ができ、社会を意味する society という英語が生まれたと言われています。また、SOCIUS という言葉は「分かち合っている・結びつけられた」という意味を持つ形容詞でもあります。当センターが地域と短大を結び合わせることによって、新しい仲間が増え、つながり合い、愛や絆が無意識的に感じられるような「社会づくり」を目指したいという願いが込められているということです。

当センターは、生活科学学科・幼児教育学科・音楽学科に設置されていたそれぞれの研究センターを平成 18 年 4 月に「地域活動実践センター」に統合して設立されました。その目的は、仁愛女子短期大学の建学の精神である「仁愛兼済」を実践するため、短大が保有する知識等の資源を地域社会に提供し、地域社会の発展と文化の向上に資することです。

平成 24 年度の主な活動として、①公開講座、講習会等の開催、②地域の教育活動を支援するための教職員派遣、③学生・教職員によるボランティア活動の支援、④教員免許状更新講習、⑤機関誌の発行等の事業に取り組みました。その実施・活動報告書として、運営委員等のご尽力・ご協力により、今回「SOCIUS」第 7 号を発行することができました。

これからさらに本センターが地域に貢献するためには、本学が有している教育資源をどのように有効利用するかについて、その方策を考えなければならないと思います。そのためにも今後とも、関係者の皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

仁愛女子短期大学
地域活動実践センター
〒910-0124 福井市天池町43-1-1
TEL.0776-56-1133　FAX.0776-56-2922
E-mail jissen@jin-ai.ac.jp